

# TOTO

## アクアオート 単水栓



TLE015型・025型・035型  
TLE20型・21型・22型・24型・25型  
TLE26型・27型・28型・30型・31型  
TLE32型・33型・35型・39型





商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。なお、施工説明書別紙もあわせてご覧ください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。






### 1-1. 安全上の注意(安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。



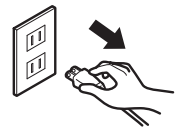





 	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
 	は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

 <b>警告</b>		
 <b>禁止</b>	AC100Vタイプ ガタついているコンセントは使わない 火災や感電の原因になります。	
	AC100Vタイプ 電源プラグや機能部に水をかけない 火災や感電の原因になります。	
	AC100Vタイプ 指定する電源 (AC100V) 以外では使用しない 火災の原因になります。	


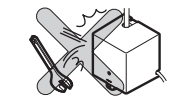



 <b>警告</b>		
 <b>禁止</b>	AC100Vタイプ 電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加熱したりしない 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。	
	AC100Vタイプ 電源コードの加工 (切断・継ぎ足し) を行わない 火災や感電の原因になります。	
 <b>接触禁止</b>	車両、船舶など、移動体では使用しない 振動により故障するおそれがあります。	
	AC100Vタイプ コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。	
	AC100Vタイプ ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。	
 <b>必ず実行</b>	AC100Vタイプ 雷が発生しているときは、電源プラグに触れない 感電の原因になります。	
	必ず機能部のホース接続口が上になるように固定する 水が浸入し、不具合の原因になります。	
	コンセントの位置は、床から100mm以上の位置に設置する 火災や感電の原因になります。	

# 1-2.

## 警告

 必ず実行	コンセントや電源プラグに給水管などの結露水や使用時の水滴がかからないよう、コンセント取付位置や防水コンセントの使用など配慮すること 火災や感電の原因になります。	 防水 コンセント
	AC100Vタイプ 電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。	
	AC100Vタイプ 電源プラグは根元まで確実に差し込む 火災や感電の原因になります。	 根元まで しっかり！
 水場使用禁止	浴室など湿気が多い場所には設置しない 故障や感電の原因になります。	
 分解禁止	分解したり、修理・改造は絶対に行わない 火災や感電の原因になります。	

## 注意

 禁止	強い力や衝撃を与えない 破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
	屋外や凍結が予想される場所に設置しない 部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
 必ず実行	フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめず、必ず止水栓または元栓を確実に閉めてから行う 水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	止水栓  閉める

# 2. 取り付け前に

## 1. 給水圧力の確認

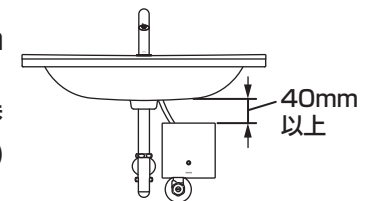
- 給水圧力範囲は、0.05 (LEED貢献品は0.1) ~0.75MPaです。この圧力範囲内でご使用ください。
- 給水圧力が0.75MPaを超える場合、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。

## 2. 配線について

- AC100Vタイプ(きれい除菌水搭載なし)の場合、**電源はAC100V(50/60Hz)、最高消費電力は5W**です。必ずこれに適した配線をしてください。
- AC100Vタイプ(きれい除菌水搭載タイプ)の場合、**電源はAC100V(50/60Hz)、最高消費電力は20W**です。必ずこれに適した配線をしてください。
- 発電タイプは電源工事不要です。

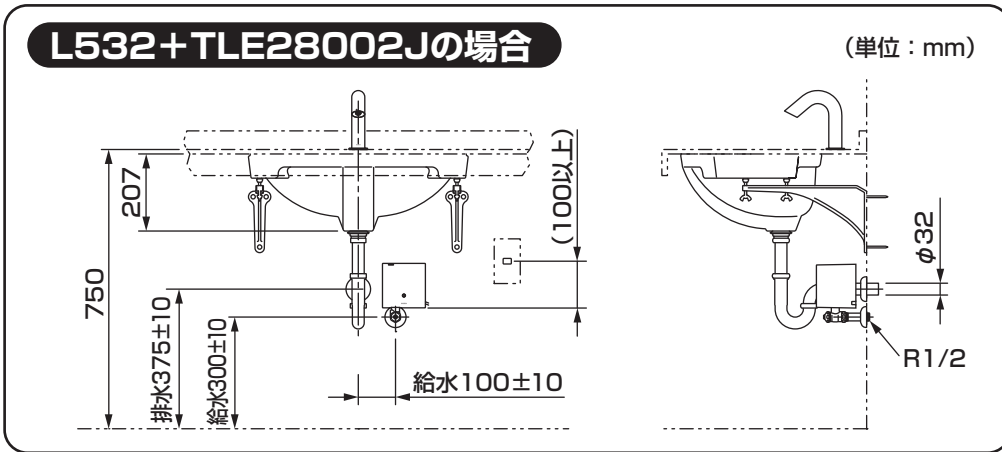
## 3. その他

- センサー面を傷つけないよう十分にご注意ください。
- インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。
- アクアオートは屋内用ですので、屋外では使用しないでください。
- 梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。
- 取り付ける陶器にあわせて排水金具、止水栓、バックハンガー取付金具、ブラケットまたはフレームが必要となります。設計施工資料集にてご確認のうえ、別途お求めください。
- メンテナンスのため、機能部上部に40mm以上のスペースを必ず確保してください。
- 陶器と機能部が干渉する場合、自動水栓取替アダプター(単水栓用)(別売品: TN154型)をご利用ください。

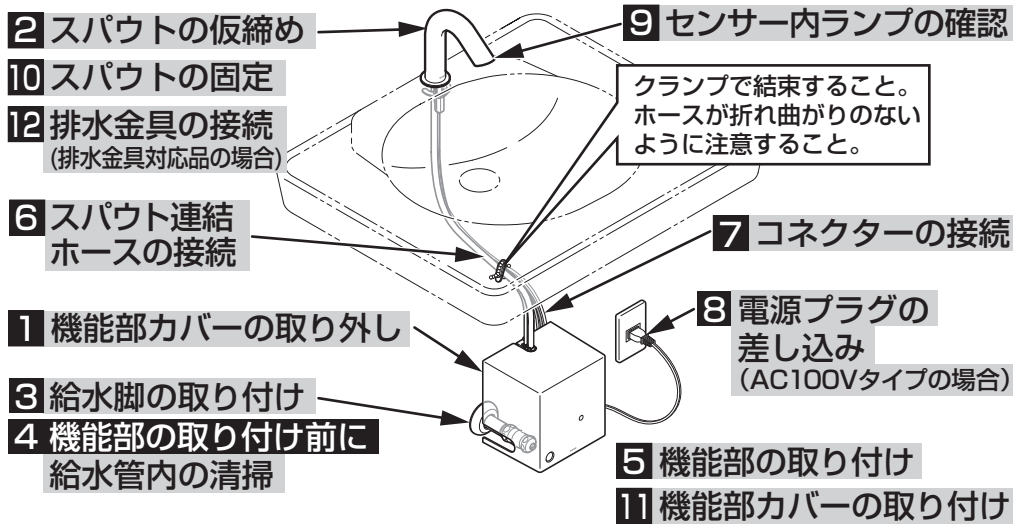


### 3. 完成図

※品番によっては図と現品の形状が一部異なります。



### 4.1. 施工手順



#### 注意

クリーンドライ (温風乾燥器) などとのセットでは、クリーンドライのセンサー光が陶器内に入らないよう、それぞれを離してセットしてください。

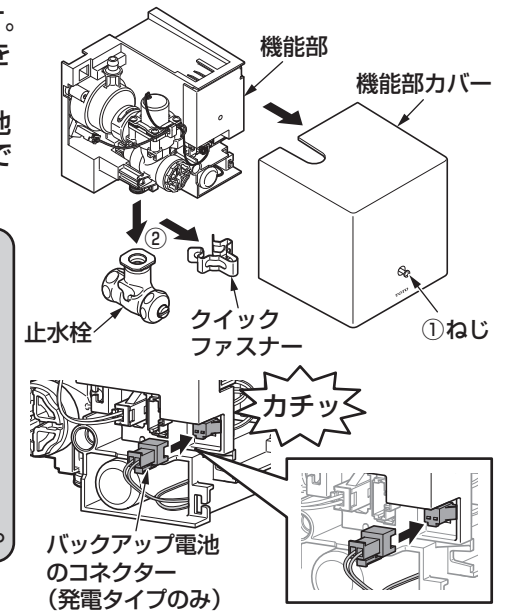
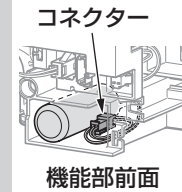
### 4.2.

#### 1 機能部カバーの取り外し

- ①ねじをゆるめ機能部カバーを手前側に外す。
- ②クイックファスナーを外し、止水栓を取り外す。
- ③発電タイプの場合、バックアップ電池のコネクターを「カチッ」というまで差し込む。

#### 注意

- バックアップ電池のコネクターは機能部前面にあります。
- 発電タイプの場合、コネクターを接続後、機能部が作動可能になるまでに約3分かかります。

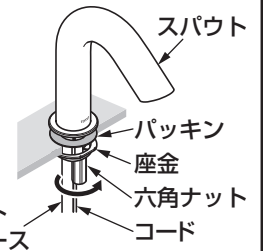


#### 2 スパウトの仮締め

- ①スパウトを陶器取付穴に差し込む。
- ②吐水口を排水口方向に向け、座金を六角ナットで仮締めする。

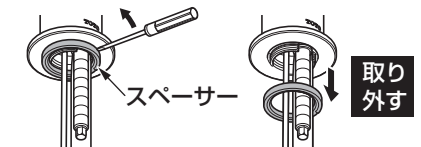
#### 注意

スパウト連結ホースとコードのかみ込みに注意してください。



#### 取り付け穴φ25~29に取り付ける場合

- ①スペーサーを外す。



スパウト品番	取付穴径
TLE28005J型	φ33~φ37
TLE31005J型	
TLE32005J型	
TLE33002J型	
TLE20型・TLE21型 TLE22型・TLE24型	φ25~φ29
TLE35型・TLE39型	
その他	φ25~φ29 φ33~φ37

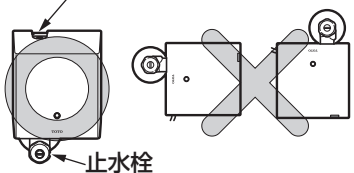
### 3 給水脚の取り付け

フランジ、連結管、止水栓を取り付ける。

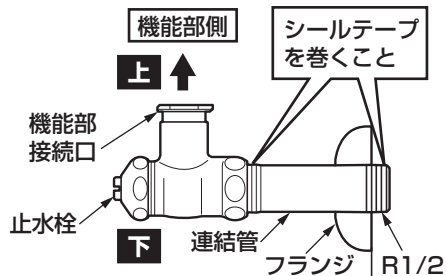
**注意**

必ず機能部のホース接続口が上になるように固定してください。水が浸入し、不具合の原因になります。

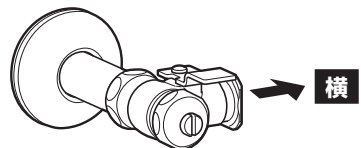
ホース接続口



止水栓



きれいな除菌水搭載タイプの場合  
機能部接続口は横になります。



※陶器と機能部が干渉する場合、自動水栓取替アダプター（単水栓用）（別売品：TN154型）をご利用ください。

### 4 機能部の取り付け前に 給水管内の清掃

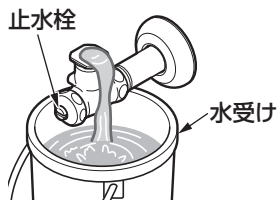
**重要**

止水栓を取り付け後、商品を取り付ける前に**必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

**注意**

給水管内の清掃を行わない場合、給水管内のごみ、砂などが駆動部やフィルターに詰まり、以下の事象が発生します。

①水が止まらない ②吐水量が少ない  
給水管内の清掃は必ず行ってください。



バケツなど水受けとなるものを準備し、壁や床に水が飛び散らないよう止水栓をゆっくり開き、給水管内のごみ、砂などを洗い流す。

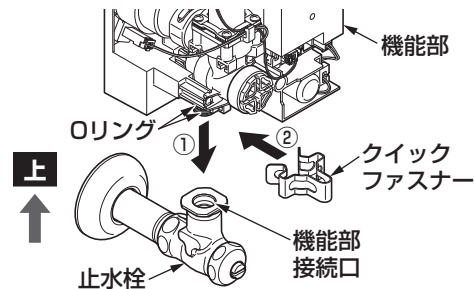
### 5 機能部の取り付け

①機能部を止水栓に取り付ける。

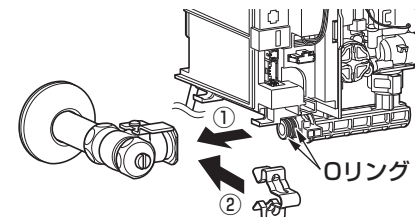
**注意**

リングにごみなどが付着していないことを確認して、取り付けてください。

②クイックファスナーで固定する。



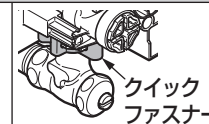
きれいな除菌水搭載タイプの場合



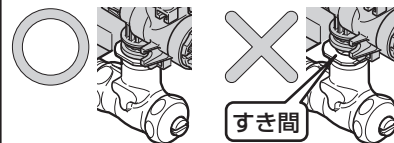
**注意**

必ず実行

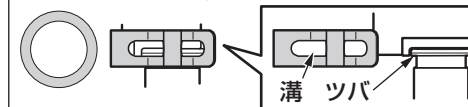
クイックファスナーの取り付けは、確実に  
不完全な場合、外れて水漏れの原因になります。



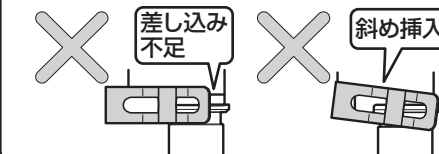
●すき間がないよう、確実に押し込む。



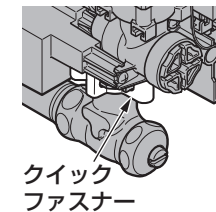
●クイックファスナーの溝にツバが全周にかかっていること。



●クイックファスナー取り付け後は、正しく取り付いていることを目視や鏡で確認する。



●クイックファスナーが確実に取り付けられているか確認してください。クイックファスナーが正常に取り付けられていない場合、機能部カバーが取り付けません。



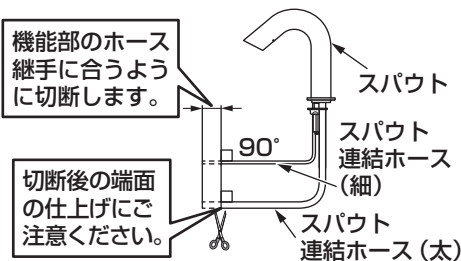
裏面へつづく

## 6 スパウト連結ホースの接続

①スパウト連結ホースを機能部のホース継手に合うように適切な長さに切断する。

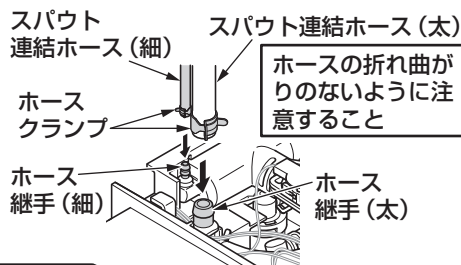
### 注意

- カッターなどを用い、切断面が垂直になるよう行ってください。
- スパウト連結ホースが長すぎると、折れ曲がりによる吐水不良のおそれがあります。



②スパウト連結ホース (太) をホース継手 (太) に差し込む。

③スパウト連結ホース (細) をホース継手 (細) に差し込む。



きれい除菌水搭載タイプ以外は連結ホース (細) およびホース継手 (細) はありません。

④ホースクランプでホースを固定する。

### 注意

- スパウト連結ホースが確実に差し込まれているか確認してください。
- スパウト連結ホースが折れ曲がることのないように注意してください。
- ホースクランプは所定の位置に付けるようにしてください。
- 必ずホースクランプでスパウト連結ホースを固定してください。

ホースクランプがホース継手の上面に付くこと



## 7 コネクタの接続

①センサーコネクタを「カチッ」というまで差し込む。

②スイッチ対応の場合、スイッチコネクタを「カチッ」というまで差し込む。

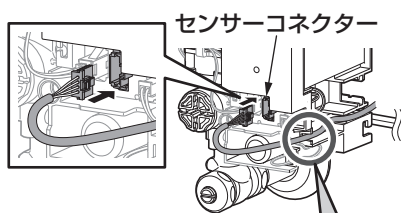
③きれい除菌水搭載タイプの場合、LEDコネクタを「カチッ」というまで差し込む。

### 注意

<発電タイプの場合>

センサーコネクタが入るとただちに感知距離を自動設定しますので、センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。(約20秒間でこの動作は完了します)

AC100V・発電タイプの場合

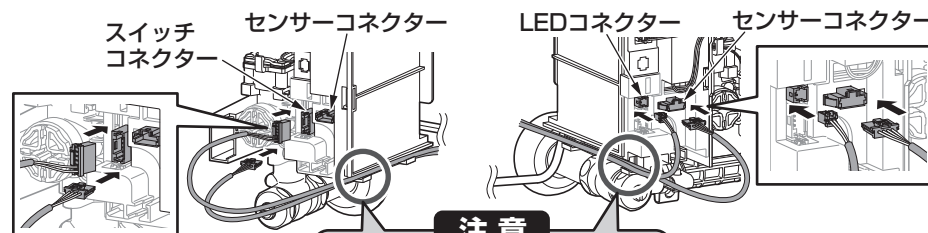


### 注意

コードはこの部分に通すこと

手動スイッチ対応タイプの場合

きれい除菌水搭載タイプの場合



### 注意

コードはこの部分に通すこと

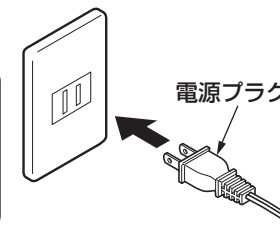
## 8 電源プラグの差し込み (AC100Vタイプの場合)

電源プラグをコンセントに差し込む。

### 注意

<AC100Vタイプの場合>

電源が入るとただちに感知距離を自動設定しますので、センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。(約20秒間でこの動作は完了します)

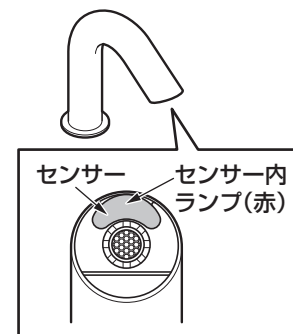


## 9 センサー内ランプの確認

センサー内に手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしない状態で、スパウトのセンサー内ランプ (赤) が点滅していないことを確認する。

※もしも点滅していれば、スパウトの向きを少し変え、点滅しないところに調整してください。

※電源を入れて約10分後にランプの点滅は自動的に消えます。自動的に点滅が消えるまでにスパウトの向きの調整作業が完了しなかった場合は、センサーコネクタを一度抜き、差し込み直してください。



### 注意

- センサー内ランプの確認をする際は、必ずセンサーを陶器のボウル面中心に向けてください。
- 陶器の種類によっては、センサー内ランプ (赤) の点滅が消えないことがありますが、その場合はそのまま設定してください。(ランプの点滅は約10分後に消えます)

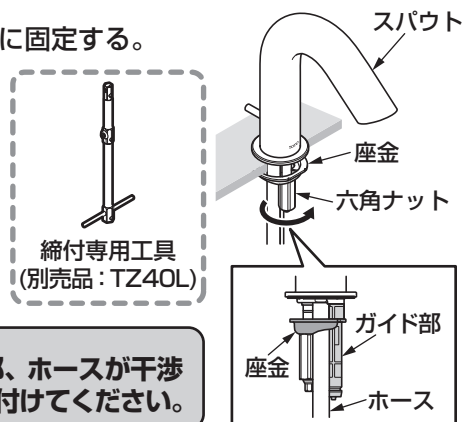
## 4-5.

### 10 スパウトの固定

六角ナットを締め付け、スパウトを陶器に固定する。

※六角ナットの締め付け用として、専用工具(別売品: TZ40L)を準備しておりますが、下記の一般工具でも取り付け可能です。

- ・ソケットレンチ(対辺: 13mm)
- ・T型レンチ(対辺: 13mm)
- ・ナットスピナーハンドル(対辺: 13mm)

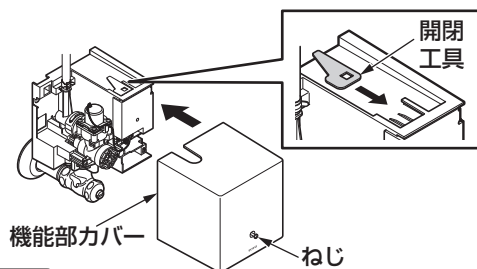


#### 注意

排水金具対応品の場合、座金とガイド部、ホースが干渉しないように注意して六角ナットを締め付けてください。

### 11 機能部カバーの取り付け

- ①コネクターが確実に接続されているか確認する。
- ②クイックファスナーが確実に差し込まれて固定されているか確認する。
- ③開閉工具を機能部の溝に取り付ける。
- ④機能部カバーを取り付ける。



#### 注意

- 機能部カバーは確実に取り付けてください。
- 機能部の取り付け向きを確認してください。
- 機能部カバーを取り付ける際は、コードのかみ込みに注意してください。

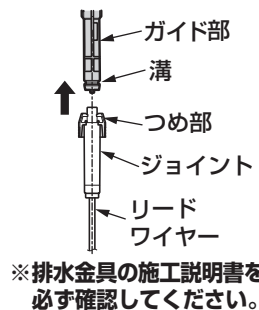
### 12 排水金具の接続 (排水金具対応品の場合)

#### ワンプッシュ式排水金具

ジョイント側のつめ部がガイド部の溝に入るまで差し込む。

#### 注意

- ジョイント部を2~3回引っ張り、抜けないことを確認してください。ただし、リードワイヤーを持って引っ張らないでください。
- ジョイント部が外れますと、水漏れの原因になります。
  - リードワイヤーの最小曲げRはR20以上です。



※排水金具の施工説明書を必ず確認してください。

## 5-1. 試運転および調節

### 1. 試運転

取り付けが完了したあと、次の方法で試運転を行ってください。

- ① 水漏れの確認  
止水栓を開き、連結管やスパウト連結ホースの接続部から水漏れがないか確認してください。
- ② 水を出す・止める

#### センサーを使った場合

- 吐水口に手を近づけると水が出ます。
- 手を離すと約1~2秒後に水が止まります。
- きれい除菌水搭載タイプの場合、約3秒後に「きれい除菌水」のミストが出ます。
- 手を約1分間連続して感知すると自動的に止まります。(センサー感知は学習方式のため、手を動かさないでいると約15秒で水が止まります)
- センサー前面から約2cmの位置に白い紙など反射しやすい物をかざしたままにすると、最大1分間水を出すことができます。  
※洗面器内に水をためると、水の影響により感知する場合があります。

#### 手動スイッチを使った場合

- 手動スイッチを押すと水が出ます。
- もう一度押すと止まります。
- 約1分間連続して水が出ると自動的に止まります。

#### 注意

電源投入後、最初の3回は手動スイッチを押すと約5分間水が出ます。もう一度スイッチを押すと水が止まります。

#### 発電機の音について(発電タイプの場合)

吐水時に機能部からモーターのような回転音が発生しますが、発電の機能を発揮するための音であり、故障ではありません。

音が気になる場合は止水栓で流量を調整してください。流量を絞りすぎると、発電量が足りなくなる場合がありますので、

②. 流量の確認 (発電タイプの場合) をご確認ください。

※正常に動作しない場合は、各コネクターが確実に接続されているか確認してください。

## 2. 流量の確認 (発電タイプの場合)

- ① センサー前に手をかざし、水を出す。
- ② 流量が1.7L/分以上あることを確認する。  
(目安：500mlのペットボトルが17秒以内に満水)

LEED貢献品は1.3L/分以下  
(目安：500mlのペットボトルが23秒以上で満水)

- ③ 流量が1.7L/分以下の場合は、**3. 流量の調節**を参照し、定流量弁を取り外して、使用する。

LEED貢献品は定流量弁を取り外さないでください。



## 3. 流量の調節

機能部内部に、定流量弁を内蔵していますので、基本的には流量の調節は不要です。

**止水栓は全開**でご利用ください。

ただし、圧力が低い場合や電気温水器とのセットにより、流量が不足する場合がありますので、下記要領にて定流量弁を取り外し流量を調節してください。

LEED貢献品は定流量弁を取り外さないでください。

- ① 開閉工具で止水栓または元栓を確実に閉める。
- ② ねじを外し、機能部カバーを外す。
- ③ 機能部に組み込まれている機能部フィルターを開閉工具で外す。
- ④ 帽子型フィルターを外し、定流量弁を取り外す。

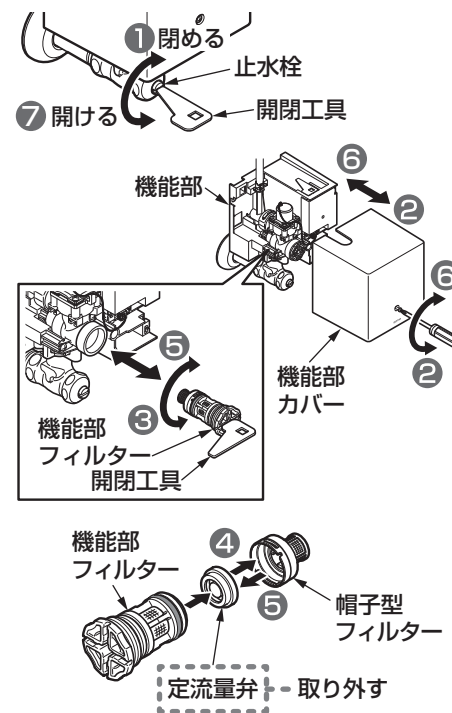
● 分解時に工具は使用しないでください。

● 定流量弁が洗面器の排水に流れていかないようご注意ください。

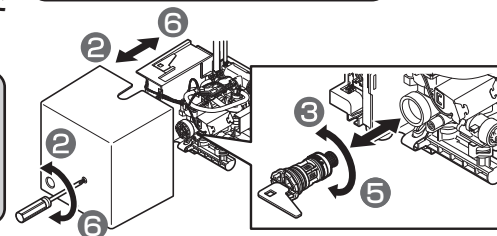


- ⑤ 機能部フィルターに帽子型フィルターを取り付け、機能部フィルターを奥まで確実に取り付ける。
- ⑥ 機能部カバーを取り付ける。
- ⑦ 止水栓および元栓を開け、止水栓で流量調節をする。

発電タイプは流量が1.7L/分以上になるように調節してください。  
(目安：500mlのペットボトルが17秒以内に満水)



きれいな除菌水搭載タイプの場合



### 4. フィルターの清掃

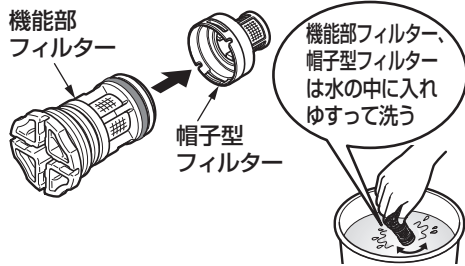
**3. 流量の調節**を行っても流量が不足する場合、機能部フィルターから帽子型フィルターを取り外し、フィルターを掃除してください。

機能部フィルターの外しかたは

**3. 流量の調節**を確認してください。フィルターが詰まると流量が少なくなったり、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

※フィルターを掃除する際は、付属の開閉工具で**止水栓を閉めたあと、機能部フィルターを外してください。**

※ゴミがフィルターの内側にたまりまます。のぞきこんで確認してください。

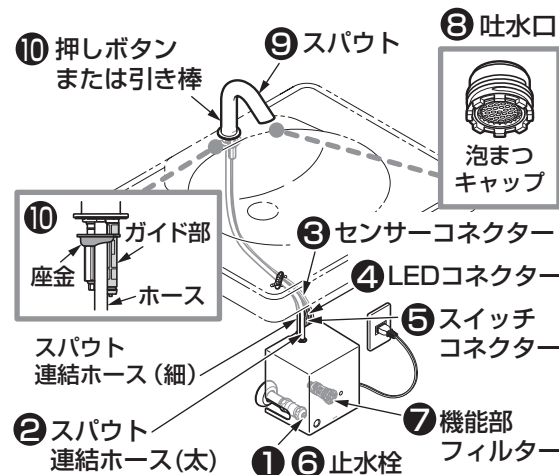


分解時に工具は使用しないでください。



## 6. 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



#### 流量の確認

流量が少ないときは、次の項目を確認してください。

**6** 止水栓は開いていますか？

↳ **5-2.** **3. 流量の調節** 参照

**7** フィルターのごみ詰まりはないですか？

↳ **5-3.** **4. フィルターの清掃** 参照

**8** 吐水口のごみ詰まりはないですか？

↳ 吐水口の掃除をする。

#### 水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

**1** 止水栓部の水漏れはないですか？

↳ **4-3.** **3** 給水脚の取り付け 参照

**2** スパウト連結ホースはしっかり接続されていますか？

↳ **4-4.** **6** スパウト連結ホースの接続 参照

#### コネクターの確認

コネクターがしっかり差し込まれているか確認してください。

**3 4 5** コネクターはしっかり差し込まれていますか？

↳ **4-4.** **7** コネクターの接続 参照

#### ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

**9** スパウトのガタツキはないですか？

↳ **4-5.** **10** スパウトの固定 参照

#### 排水金具の確認

押しボタンまたは引き棒の動作が固くないか確認してください。

**10** 座金とガイド部、ホースが干渉していませんか？

↳ **4-5.** **10** スパウトの固定 参照

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。



取扱説明書



開閉工具



専用工具



六角棒レンチ  
(対辺: 1.5mm)

※六角棒レンチはGCタイプ、コンテンポラリ(オーバル)タイプに付属、専用工具はその他のスパウト形状に付属しています。

※コンテンポラリ(手洗器用)は付属部品はありません。